

「中断節」の機能と言語進化

名古屋大学大学院・国際言語文化研究科・応用言語学講座
第6回公開講演会

※本講演会は平成23年度国際言語文化研究科教育研究プロジェクトの支援を受けています。

講師

大堀壽夫先生
(東京大学大学院総合文化研究科・准教授)

日時

2011年10月4日(火) 午後4時半～6時

会場

全学教育棟・北棟406室

「従属節」を表す形式が「文末」にあらわれる現象 (suspended clauses, Ohori 1995, 2000 もしくは insubordination, Evans 2007) は、日本語のいわゆる接続助詞「から」、「ので」、「のに」等だけでなく、典型的に異なる言語についても報告されている。本発表では、(i)日本語談話内での「から」の生起を見ながら、その機能を考察すること、(ii) それをもとに、Heine & Kuteva (2007)による再帰構造の発生についての議論を検討すること、の2点を試みる。

来訪歓迎・申し込み不要

連絡先: 堀江薫教授 (horieling@gmail.com)